

加古川「知」をむすぶプロジェクト(2017年度)募集概要

【趣旨】

加古川市を研究フィールドとして、地域の課題について調査研究し、課題解決の提案もしくは課題の現状分析を、加古川市で開催される報告会において発表する。調査対象は、加古川市内の企業や団体、組織で、優れた課題解決の提案は加古川市や団体・企業等で採用されます。募集している研究テーマは下記の通りです。

【進め方】

応募者と、課題を抱える組織・団体・企業等とのマッチングを行ったうえで、専門分野に応じた方法で研究に取り組みます。※マッチングのため、募集締め切り後、指導教員と相談させていただきます。マッチングが成立しないこともあり得ますので、予めご了承ください。

中間報告会（12月9日）、成果発表会（1月13日）を加古川市で開催します。

調査研究の過程もしくは課題解決の提案において、地域住民の参画を得ることが望ましい。 ※調査研究における地域住民へのアンケートやヒアリングの実施、課題解決における地域住民の役割や協同参画の提案、等。

【参加条件】 *不明な点は地域連携センターにお問い合わせください。

1. ゼミもしくはプロジェクト単位で参加申込みを行うこと。（エントリーは指導教員を通して行ってください）
※それ以外の場合は地域連携センターまでお問い合わせください。
2. 3名以上で構成されたチームであること。

| 研究テーマ | 具体的な取り組み内容（例） | 関連キーワード |
|--------------------------------------|---|--|
| I 地域資源を活用して、地域を活性化する観光戦略に関する研究・提案 | <ol style="list-style-type: none"> 1.鶴林寺を核としたインバウンド対策 2.加古川市北部の「みとろ」エリアの観光誘客 3.ご当地グルメ(かつめし、ギョッとめし)を活かした観光促進 4.SNSを活用した地域住民主体の観光情報発信促進 5.その他 | 社会調査、文化財活用、情報発信ツールの開発、ICTの活用、着地型観光プロジェクト、地域内移動、地域資源のネットワーク化、SNS |
| II 地産品(農産品)のブランディング・販路開拓に関する研究・提案 | <ol style="list-style-type: none"> 1.地元小中学生への食材提供による地産物PR 2.食育、地元産物の認識向上 3.農業を通じた交流人口増加と移住への取り組み 4.地産品PRのためのマルシェ展開 5.その他 | 社会調査、情報発信ツールの開発、ICTの活用、地産地消推進、食育・給食、市場・販路開拓、ブランディング、マーケティング、広告戦略、TPP対応 |
| III グローバル化のなかで農村の活性化に関する研究・提案 | <ol style="list-style-type: none"> 1.放棄田対策 2.農業の魅力の発信 3.農地を活用した交流人口増加の取り組み 4.その他 | 社会調査、情報発信ツールの開発、ICTの活用、TPP対応、移住・定住 |
| IV 地元商店街の活性化に関する研究・提案 | <ol style="list-style-type: none"> 1.JR加古川駅周辺のにぎわい創出 2.商店街等の商業施設の活用・活性化 3.にぎわい創出に繋がるイベントや仕組み 4.その他 | 社会調査、イベント企画、情報発信ツールの開発、ICTの活用、消費者行動、顧客獲得、マーケティング |
| V 地元企業の採用活動に関する研究・提案 | <ol style="list-style-type: none"> 1.市内企業への就職を促進する施策 2.インターンシップ支援策 3.学生目線での就職イベント等の提案 4.その他 | 社会調査、情報発信ツールの開発、ICTの活用、採用戦略、採用ブランディング、人材獲得、U・I・Jターン |
| VI 地元企業の課題解決に関する研究・提案 | <ol style="list-style-type: none"> 1.マーケティング課題(市場調査、商品開発、ブランディング、販路開拓等)の解決策の提案 2.マネジメント課題(生産性向上、組織活性化等)の解決策の提案 3.人材育成・人材開発課題の解決策の提案 4.会計・財務課題の解決策の提案 5.その他 | 社会調査、情報発信ツールの開発、ICTの活用、新製品・新商品開発、市場・販路開拓、ブランディング、組織活性化、組織改革、人材育成・人材開発、人的資源管理、会計・財務 |